

2022年2月28日

同窓会入会式挨拶

東京青高同窓会会長 松山正弘

春を感じ始めているこの時期、卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

私は、東京青高同窓会会長を務めております、青高27回生の松山正弘と申します。本来であれば、皆さんにお目にかかってご挨拶を述べさせていただくところですが、新型コロナウイルス感染症がどのように変化するか予想がつかない状況のために、昨年同様、代読という形となったことをお許しください。

これまでの高校生活において、様々な経験を積み重ねてきたことと存じます。青高の3年間は昨今の状況もあって恐らく良いことばかりではなかったことと思います。しかし、新たな夢に向かって進まれる卒業生の皆さんが、一步一步着実に歩みを進めていくためには、これまでの経験が必ずや役に立つでしょう。

社会に出ると、これまでの価値観と異なるものに触れる機会が多くなり、戸惑うこともあるかもしれません。しかし、価値観というのは不変ではなく、絶えず変化していくものです。そしてこの変化を担うのが皆さんです。失敗してもある程度は許される年代ですから、積極的に多くのことに挑戦し、皆さんが持つ新しい感性で今ある価値観をどんどん変化させていってください。

卒業生の皆さんにとって、これからは自分の夢へと向かってゆく過渡期です。高校で学んできたことを糧に、これまで以上に心身を鍛錬し、自分自身に磨きをかけ、未来へ向けて自分の夢を実現してほしいと思います。ただ、その際には周りの人間に対して配慮のできる、温かい心も持ち合わせてほしいと願っております。「情けは人の為にならず」ですから。

ここからは、私が会長を務める東京青高同窓会の活動を簡単にご紹介させていただきます。皆さんの中には、4月から東京近辺に来られる方もいらっしゃるかと思います。東京青高同窓会は、旧制青森中学校の卒業生が創設した「東京青中会」から始まる歴史を持ち、東京またはその周辺に在住する会員で構成されています。現在、県外にある同窓会としては、最も多くの同窓生が所属しております。

会の目的には、ふるさとの同じ学舎で過ごした同窓との出会いを懐かしみ、喜び、加えて世代を超えた同窓が互いに刺激しあい、何かを学び、助け合い、人生を豊かにすることを挙げています。

青森高校同窓会から独立した組織として、独自の活動を続けてはおりますが、相互に親睦並びに連携を深めています。

主な活動内容として、例年5月に上野の精養軒において350名ほどの卒業生が集う、東京青高同窓会総会並びに懇親会を開催しております。また、その年の春に青森高校を卒業された方を無料でご招待し、毎年多くの方に参加いただいております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症対策のため、一昨年は中止、昨年は総会のみをWEB開催、今年も通常の実開催は困難と判断し、5月8日(日)11時からWEBでの開催(総会と講演会)となりました。今年の実開催の開催要項、参加申し込み方法等の詳しいことは、東京青高同窓会のホームページに掲載されております。また、東京青高同窓会からみなさんへお配りします卒業記念品に添えられているQRコードからも、東京青高同窓会ホームページや総会の参加申し込みアクセスできます。総会がWEB開催となったことを機に、これまで東京在住の方のみ参加可能だったものが、全ての卒業生の参加が可能になりました。WEB総会で多くの方にお目にかかれることを楽しみにしておりますので、是非ご参加ください。

結びとなりますが、校長先生をはじめ、諸先生方、保護者の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。ご卒業、誠におめでとうございます。